

令和5年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 事業概要書

事業名: 木材を使ったコミュニティスペース用イス・テーブル作り・販売**団体名: 株式会社 ENgaWA**

事業の目的・内容

弊社が主催するイベントや地域の交流施設等で活用できる、よりコミュニケーションが促進される家具の開発・製造を目的とした。それらの家具を横瀬・秩父産材の木材を使用して製造し、販売をすることで地域産材の活用を目指す。

実施主体として株式会社 ENgaWA、材料調達、木材加工を TATE.Lab が行う。材料は横瀬・秩父産材の合板を使用。木工 CNC ルーター ShopBot (ショップボット) によって切り出した材木を使用する。

また、新たに作成した商品を横瀬町のふるさと納税の返礼品としての出品及びインターネット販売などを目指す。



今までの活動状況

成果物は、直径 800mm 高さ 360mm のローテーブルを作製した。天板に互いの気持ちを予想するゲームをレーザー加工により刻印している。床に座り込む、またはローチェアに座ってテーブルを囲み、ゲームを通してコミュニケーションが促進されることを想定している。天板に印刷されている「ソノトキボクハ」というゲームは、2～6人で7歳から遊べる協力ゲームで、10種の気持ちの中から出題者の気持ちを予想して、みんなで正解を見つけるゲームとなっている。

コミュニティスペースへ設置し実際に使用してもらうことで、実際にテーブルを通してコミュニケーションが促進されるかを検討した。実際に小学生がテーブルを通して遊ぶ様子が観察された、イベントやディスカッションの場としての活用方法が期待される。





これからの活動・行事

地域外の PR イベントへの出店・展示を行い商品の PR を行う。株式会社 ENgaWA の関連施設等に設置して使用感等の検討を行い、より使いやすくや遊びやすい商品を目指す。またさふるさと納税での返礼品化、その他販売を行う。